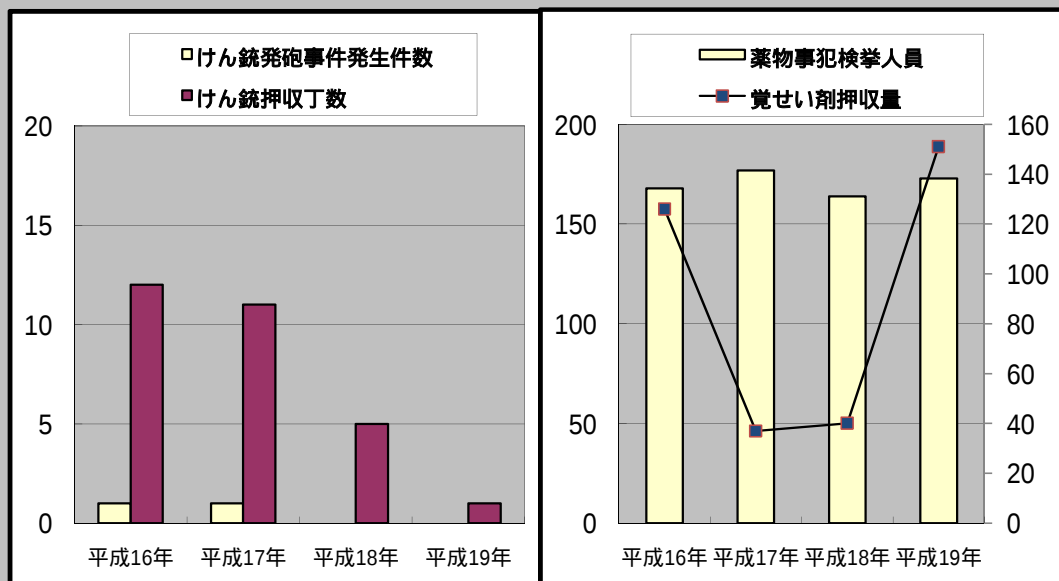


業 務 名

銃器・薬物犯罪対策の推進

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
けん銃発砲事件発生件数	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	1	1	0	0	件
けん銃押収丁数	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	12	11	5	1	件
薬物事犯検挙人員	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	168	177	164	173	人
覚せい剤押収量	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	126	37	40	151	g



○業務の主なコスト

No	事 業 名	平成19年度事業費(千円)	平成20年度事業費(千円)
1	銃器総合対策強化費	1,655	1,624
2	薬物事犯対策費	179	95
3			
4			
5			
6			
7			
8			
合 計		1,834	1,719

○平成19年の取組み

●全国的に暴力団による対立抗争や銃器使用の凶悪事件が連続発生したことから、県民の不安を解消するため

- ・ けん銃隠匿事犯の摘発強化
- ・ 税関、海上保安庁等との連携による水際対策の強化
- ・ 県民の理解と協力を確保するための積極的な広報活動

等の各種対策を推進し、平成19年中、けん銃1丁（前年比－4丁）を押収した。

●薬物犯罪組織の壊滅、「第三次覚せい剤乱用期」の早期終息を目指し、

- ・ イラン人等による麻薬特例法違反（業としての密売）を検挙
- ・ 末端乱用者の徹底検挙
- ・ 税関、海上保安庁等との連携による水際対策の強化

等の各種対策を推進した結果、173人（前年比＋9人）を検挙するとともに、覚せい剤151g（前年比＋111g）を押収した。

○課題と平成20年の取組み

●銃器・薬物犯罪は、組織的に敢行され、犯行の手段・方法も巧妙化が顕著になっていることから、組織犯罪に係る情報を一元的に管理して戦略的な組織犯罪対策を推進する。

●銃器犯罪対策は、

- ・ けん銃隠匿事犯の摘発強化
- ・ 税関・海上保安庁等他の取締機関との連携による水際対策の強化
- ・ 県民の理解と協力を確保するための積極的な広報活動

を推進する。

●薬物犯罪対策は、

- ・ 密売グループ、末端乱用者の徹底検挙、犯罪収益のはく奪の推進
- ・ 税関・海上保安庁等他の取締機関との連携による水際対策の強化
- ・ 学校、職場等に対する積極的な広報啓発活動による薬物乱用防止啓発活動

等の各種対策を推進する。